

4 よくある質問

Q19

大型MICE施設周辺にホテルや商業施設は
できますか。

A

沖縄県は、大型MICE施設周辺に、MICE参加者の利便性を高め、地域の賑わいを創出し、経済波及効果を高めるホテルや商業施設などを適切に配置するため、まちづくりの基本方針となる将来像やコンセプト、施設の配置計画、土地利用などを示した「マリントウンMICEエリアまちづくりビジョン」を策定しました。

まちづくりビジョンでは、県有地である5つのゾーンを、ハイクラスなホテル、ファミリー向けホテル、ビジネスホテルなど多様なホテルや商業施設の立地が可能な土地として位置付けています。

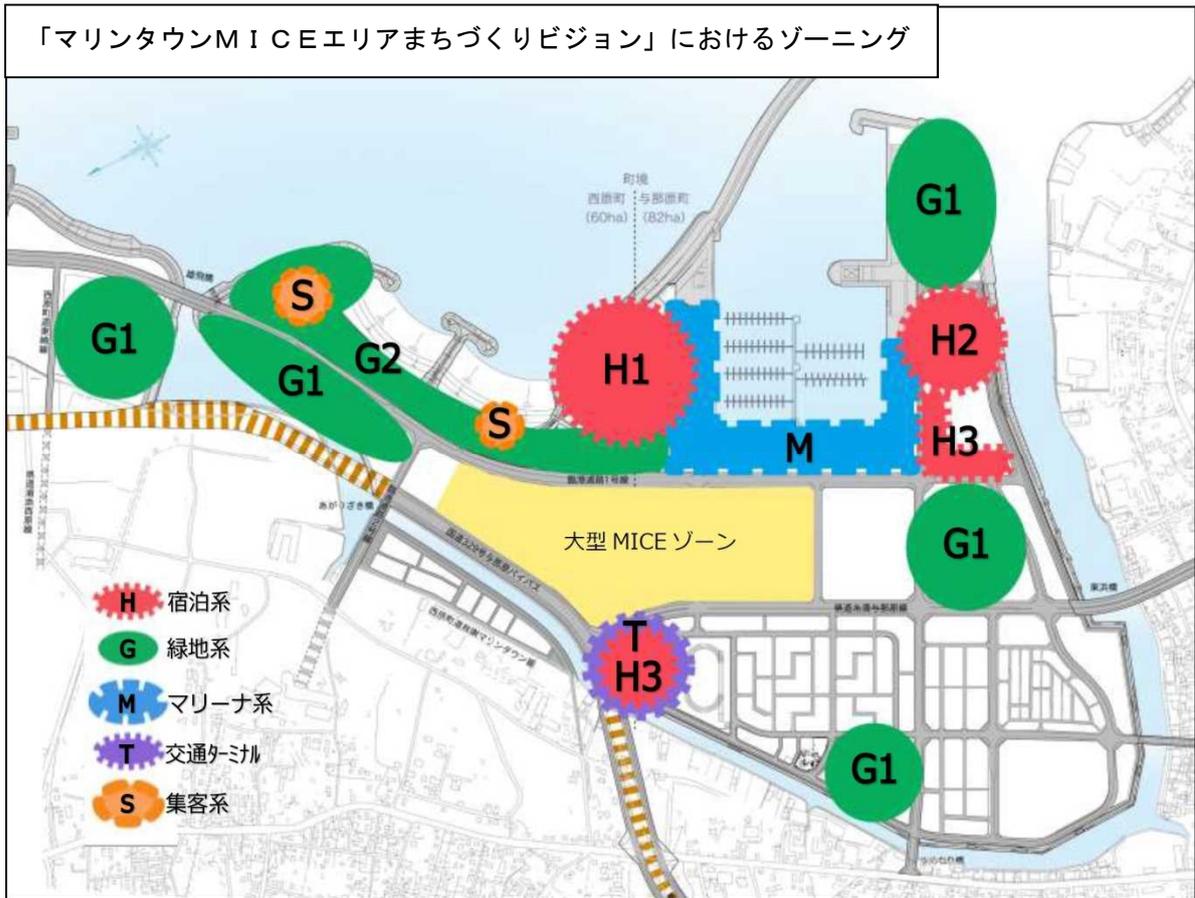
沖縄県は、各ゾーンにおいて、適時、既存の土地利用の見直し等を行い、段階的にホテルや商業施設の誘致をすすめていくこととしており、地元自治体や関係部局と連携しながらまちづくりに必要な行政手続きに取り組んでいます。

その中でも、大型MICE施設の周辺の区画については、多数の企業からの問合せや現地視察が行われており、高い関心が寄せられていることから、ホテルや商業施設の公募を早期に開始できるように準備を進めているところです。

まちづくりビジョンにおけるゾーンの考え方

- 東海岸地域の国際交流拠点にふさわしい魅力あるエリアの形成を目指し、大型MICE施設を核とした賑わいがマリントウンMICEエリア内に波及・浸透していくとともに、マリントウンMICEエリア外の周辺地域へも賑わいが連鎖されるようなゾーンの展開を図ります。
- 国内外から訪れる来訪者を受け入れる東海岸地域の玄関口としての機能が求められるマリントウンMICEエリア周辺では、地域のグローバル化に対応した業務・商業・観光・宿泊施設・レジャー・交流・住居など、同エリアの国際性を高める多様な都市機能が集積する複合市街地の形成を図ります。
- マリントウンMICEエリアには、MICE機能・商業・宿泊・居住等をバランスよく配置することで、「交流、賑わいある豊かなまち」の具体化を図ります。

4 よくある質問



大型 MICE ゾーン

年間を通じた集客・賑わいを創出するゾーンとして、国内外からの来訪者を想定した多様な都市機能の充実を進め、活発な交流を促す環境の形成を図ります。

G1 みどり交流ゾーン

憩いや散策、健康増進など既存の利用方法を維持、充実を図ります。

将来的には、新たに増える国内外からの来訪者にも海辺・緑空間の特性を活かした散策、鑑賞、休憩などが体感できる賑わい・交流空間の形成を検討します。

H1 ラグジュアリーゾーン

大型 MICE 施設利用する国内外からの来訪者等をターゲットにするハイクラスの滞在環境の整備を図ります。多数の利用者が円滑に移動できるよう大型 MICE 施設との連続性を確保しつつ、敷地内では自然あふれる環境のなか、非日常の特別な時間が過ごせる、再び滞在したいと思わせるような空間の形成を目指します。

G2・S マリンアクティビティゾーン

憩いや散策、ビーチ利用者への利便機能など既存の利用方法を維持、充実を図ります。

沖縄県東海岸のエメラルドグリーンと白い砂浜、海浜植物等の鮮やかなグリーン等を活用した集客施設や、マリンレジャーの魅力を楽しめるビーチハウス等の賑わい・交流空間の形成を検討します。

H2 ファミリーゾーン

“沖縄らしさ”が感じられるリゾートスタイルのファミリー向けの滞在環境の整備を図ります。子ども向けの施設などの配置を検討し、家族みんなで滞在を楽しめる空間の形成を目指します。

M マリーナ活性化ゾーン

与那原マリーナの機能を損なうことなく、海辺を身近に感じる賑わい環境の整備を図ります。

穏やかな青い海、緑あふれる山を眺めつつ素敵なマリンライフを過ごせる商業環境の形成を目指します。

H3 ビジネスゾーン

MICE や地域産業に関連するビジネス利用者等をターゲットにする滞在環境の整備を図ります。快適に滞在が出来るように、ビジネス環境が充実した空間の形成を目指します。

T 交通ターミナルゾーン

那覇空港や県内の主要都市等との交通結節機能を整備するとともに、情報や公共的なサービスを提供する環境整備も図ります。国内外からの来訪者を快適な空間でお出迎えします。

また、高度利用により滞在環境の形成も検討します。

「マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン」より

4 よくある質問

Q20 MICE参加者はどのようにアクセスしますか。

A 大型MICE施設へのアクセスは、MICEの催事種別や規模毎に異なるものを想定しています。

M(国内外企業の会議等)・I(企業の報奨旅行等)・C(学会等)は、主に貸切バスやハイヤー、タクシー等で、①空港、②ホテルが集積している那覇市街地からのアクセスを想定しています。

E(展示会、コンサート等)は、シャトルバス、タクシー、路線バス、レンタカー、自家用車で、①空港、②那覇市街地、③モノレールてだこ浦西駅、その他県内各地から多様なアクセスを想定しています。



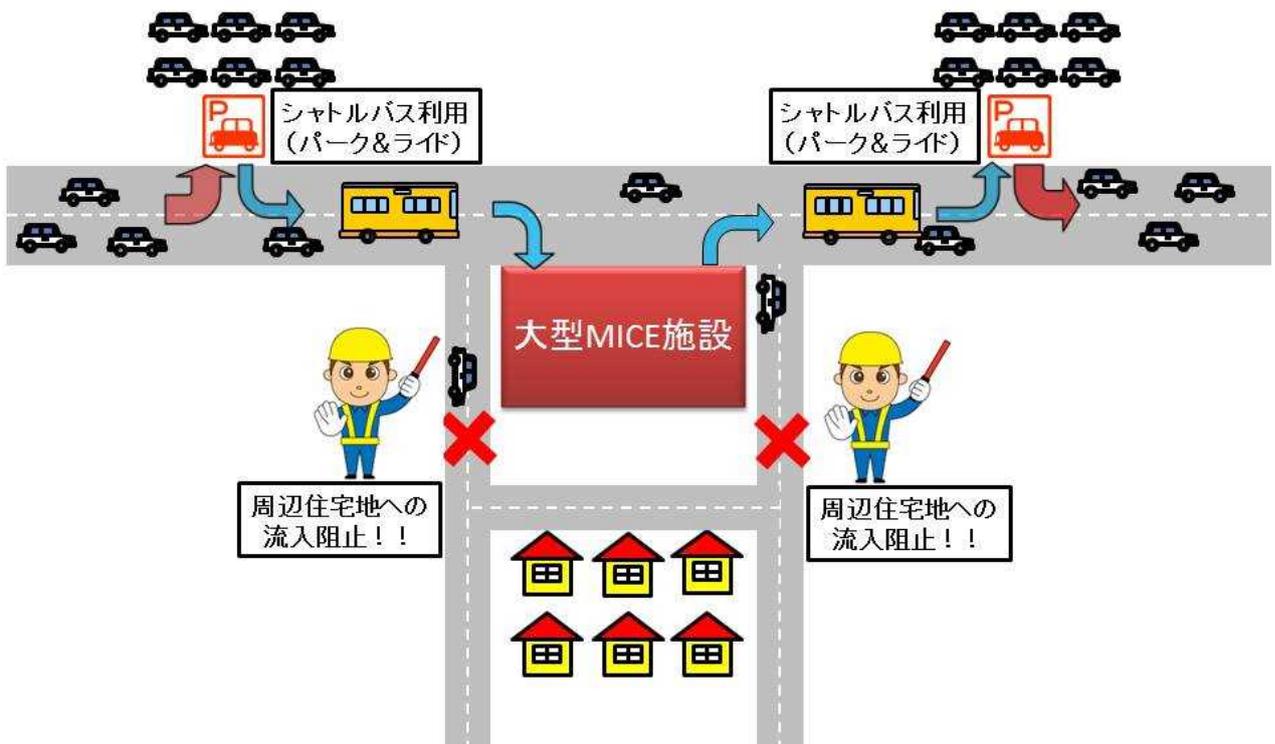
4 よくある質問

Q21 大型MICE施設周辺が渋滞しませんか。

A 大型MICE施設は、国道329号与那原バイパス及び4車線道路である県道糸満与那原線の2つの主要幹線道路に接しており、大型催事の際には、周辺住宅地へ通じる細街路等へ車が流入しないよう車を誘導する事により、周辺住宅地への影響を最小限に抑えます。

また、MICE主催者とも連携し、大型催事の際には参加者に公共交通機関の利用を呼びかけるほか、中南部地域の大型商業施設や公共駐車場等を活用したシャトルバスの運行、アクセス時間帯を分散させるイベントを実施する等、交通渋滞対策に取り組めます。

さらに、MICE開催時に発生する交通量や、施設周辺エリアのまちづくりの進展により増加が見込まれる交通需要への対応について、関係機関と連携し、主要交差点の交通渋滞対策や、公共交通を含む様々な移動手段について検討しているところです。



4 よくある質問

Q22 MICE開催に関する沖縄の強みは何ですか。

A 人・知識・文化の融合する海邦交流拠点

沖縄県は、飛行機で4時間圏内に約20億人の人口(市場)を抱える地理的特性により、我が国におけるアジアの玄関口に位置付けられ、経済、学術・文化、健康・長寿、自然環境、スポーツ等の分野で世界との多元的交流と連携を深化させるフロントランナーとして、独自の成長を続けています。

リゾート性を備えた都市機能

現在、ホテル、レジャー・文化施設、国際空港、クルーズ港などが整備され、今後も、大型MICE施設、那覇空港の第2滑走路、沖縄都市モノレール延長などのインフラ整備や、ホテルなどの民間施設等、国際的な観光リゾート地及びMICE都市として国内外の方々を迎え入れるために必要な都市機能が、より一層高度化されていきます。

沖縄の魅力支える個性豊かな離島

広大な海域に散在する160の島々があり、どの島も個性豊かで、離島ならではの大自然、島民とのふれあい、そこでしか味わえない様々な体験は、非日常で特別な時間を演出してくれます。



石垣島のバーベキューを楽しむインセンティブトラベル客

(2016年5月12日 八重山毎日新聞掲載)

4 よくある質問

【沖縄県への航空アクセス】

沖縄県への国内航空路線は東京、大阪、名古屋を中心に国内 27 都市への直行便が運航されており、国内航空路線数は羽田、関空、新千歳に次ぐ第 4 位となっています。

また、国際線についても著しく増加しており、台湾、韓国、中国、香港、タイ等のアジア主要都市へ直行便が運航されています。

■ 沖縄県への主な都市の直行便（国内線）

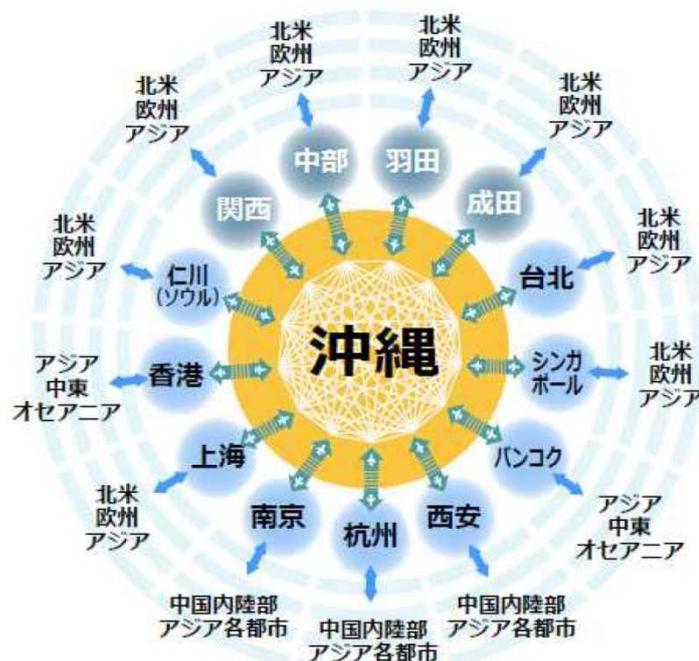
空港	発着空港名	発着便数/日
那覇空港	羽田空港	30
	成田国際空港	8
	中部国際空港セントレア	11
	大阪国際空港(伊丹)	5
	関西国際空港	12
	神戸空港	6
	福岡空港	21
	その他都市	17
宮古空港	羽田空港	2
	関西国際空港	1
	中部国際空港セントレア	1
石垣空港	羽田空港	4
	中部国際空港セントレア	1
	関西国際空港	3
	福岡空港	1
合計		123

■ 沖縄県への主な直行便（国際線）

空港	国名	発着空港名	発着便数/週
那覇空港	台湾	台北桃園国際空港	60
		台中空港	4
		高雄国際空港	6
	韓国	仁川国際空港	49
		釜山・金海国際空港	6
		大邱国際空港	5
	中国	香港国際空港	24
		上海浦東国際空港	21
		北京首都国際空港	4
		天津滨海国際空港	2
		杭州蕭山国際空港	4
		南京禄口国際空港	5
西安咸陽国際空港		2	
タイ	バンコク・スワンナ プーム国際空港	7	
合計		199	

2017年6月現在

■ 国際空港を経由したMICE市場の新規開拓のイメージ



「沖縄MICE振興戦略」より

4 よくある質問

Q23

どのようにMICEを誘致、受入するのですか。

A

沖縄 MICE 振興戦略

沖縄県では、MICEの誘致戦略を含む、今後10年のMICE振興の意義・効果、長期目標、振興の方向性、具体的施策等について体系的に整理した「沖縄MICE振興戦略」を策定しており、以下の重点施策について関係機関と取り組むこととしています。

- (1) マーケティング調査、情報分析の強化
- (2) 誘致・プロモーションの展開
 - ① MICEブランドの構築・発信
 - ② 企業ミーティング、インセンティブ旅行の誘致
 - ③ コンベンションの誘致
 - ④ 政府系国際会議の誘致
 - ⑤ 展示会、商談会、見本市等の開催・誘致
- (3) MICE施設の機能強化
 - ① 大型MICE施設の整備と周辺まちづくりによる賑わいの創出
 - ② 既存MICE施設の機能強化による利便性の向上
 - ③ MICE施設の機能強化に向けた交通体系の確立
- (4) MICE誘致・受入体制強化
 - ① MICE 推進組織の設立
 - ② 大規模MICEの受入態勢の整備
 - ③ 地域内連携による周遊性の向上
 - ④ 地域・住民のMICE参加の促進

4 よくある質問

(5) MICE誘致・開催に関する支援の充実

- ① MICE施設・開催支援の充実
- ② 沖縄らしいMICEコンテンツの開発
- ③ MICE限定制度の導入

(6) MICEプレイヤーの育成・高度化

(7) MICEを活用した新たな産業の振興

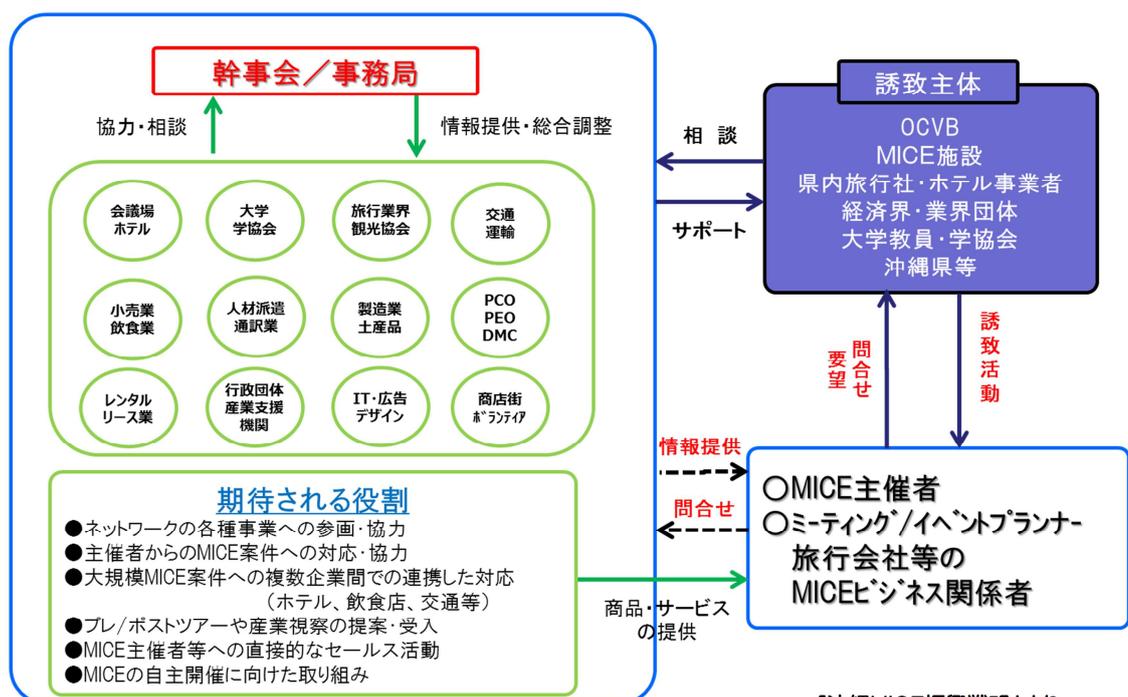
- ① MICEを活用した地域産業の振興
- ② MICE関連産業の創出

(8) 国内外のMICE都市との協力体制の構築

沖縄 MICE ネットワーク

MICEに関する総合的支援体制構築や産業横断的な受入体制構築、マーケティング、プロモーション等については、経済界・大学等研究機関・行政機関などで構成する「沖縄MICEネットワーク」において取組むこととしています。

■ 沖縄MICEネットワークについて



「沖縄MICE振興戦略」より